

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月10日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 米澤 秀記 (TEL) 03-5433-1123
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,600	△1.9	149	△44.4	120	△48.0	85	△58.7
23年3月期第3四半期	12,839	85.3	268	-	232	-	207	-

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 76百万円 (△66.9%) 23年3月期第3四半期 232百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.61	-
23年3月期第3四半期	42.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,930	1,480	13.5
23年3月期	9,658	1,452	15.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,480百万円 23年3月期 1,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 23年3月期末配当金の内訳 普通配当5円 記念配当5円

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△5.2	220	△33.7	175	△38.8	165	△57.6	33.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名）納宜伽義機材（上海）商貿有限公司、除外 1 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	5,072,000株	23年3月期	5,072,000株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	206,576株	23年3月期	206,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	4,865,424株	23年3月期3Q	4,866,403株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災と原発事故により一時的に落ち込みましたが、第1四半期は、復興に伴う企業活動の急速な回復から景気は徐々に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、第2四半期以降は、海外における景気の減速、為替市場の急激な円高進行、さらには10月のタイ洪水による生産低下から再び不透明な状況で推移しました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界及びFPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置業界におきましては、第1四半期はスマートフォンやタブレット端末などの世界的な需要増加を背景に半導体メーカーの設備投資が好調に推移しましたことから半導体製造装置メーカーにつきましても旺盛な受注となりました。しかしながら、第2四半期以降は、台湾や韓国の半導体メーカーが平成24年春のスマートフォンなどの新製品投入に備えた製造装置の発注を増やしたことから、半導体製造装置メーカーは一時的な受注増がりましたが、景気減退に伴う先行き警戒感からくる投資抑制により、受注は全体として減少いたしました。FPD製造装置業界におきましては、大型化投資の抑制、先送りから大幅な受注減が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、営業展開の拡大強化や業務の効率化を推進するとともに、製販一体の総合力の強化により受注獲得に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、126億円（前年同期比1.9%減）となりました。損益面では、中国海外子会社設立および物流センター新設投資等に伴う経費の増加の他、法改正に伴う法人税等調整額が増加したことから、営業利益1億49百万円（前年同期比44.4%減）、経常利益1億20百万円（前年同期比48%減）、四半期純利益85百万円（前年同期比58.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・FPD製造装置等の各種コンポーネンツ（部品）及び同装置の販売事業におきましては、第1四半期は半導体メーカーの投資需要による半導体製造装置メーカー等からの受注が旺盛でした。第2四半期以降は、前半は先行き警戒感からの設備投資抑制から半導体製造装置メーカーからの受注が冷え込みましたが、後半に回復がみられたことから売上高は、118億94百万円（前年同期比0.7%減）となりました。損益面では、投資等経費の増加から営業利益1億15百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

②受託製造事業

半導体・FPD製造装置等の組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、第2四半期以降は取引先からの受注の先送りやキャンセルが多数発生したことにより、売上高14億67百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益8百万円（前年同期比87.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億72百万円増加し、109億30百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が9億56百万円、受取手形及び売掛金が4億90百万円等流動資産が12億41百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億44百万円増加し、94億49百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億48百万円、短期借入金が2億円等流動負債が4億3百万円、長期借入金が5億87百万円及び社債が1億89百万円等増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、14億80百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ15.0%から13.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、平成23年11月4日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
第1四半期連結会計期間において、納宜伽義機材（上海）商貿有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。
なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,334,756	3,291,125
受取手形及び売掛金	4,068,006	4,558,638
商品及び製品	757,194	655,313
仕掛品	44,544	32,851
原材料及び貯蔵品	30,277	24,205
その他	245,041	166,639
貸倒引当金	△6,939	△14,495
流動資産合計	7,472,881	8,714,277
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,032,502	1,032,502
その他(純額)	365,969	355,833
有形固定資産合計	1,398,472	1,388,336
無形固定資産		
	13,384	30,114
投資その他の資産		
その他	773,442	798,003
貸倒引当金	△74	△65
投資その他の資産合計	773,368	797,937
固定資産合計	2,185,225	2,216,388
資産合計	9,658,106	10,930,666
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,700,953	4,720,244
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	871,471	1,019,766
未払法人税等	10,293	6,459
賞与引当金	92,000	42,027
その他	267,136	356,429
流動負債合計	5,941,853	6,344,927
固定負債		
社債	147,000	336,000
長期借入金	1,485,156	2,072,952
退職給付引当金	512,528	554,064
長期未払金	96,443	96,443
資産除去債務	13,505	12,523
その他	9,093	33,005
固定負債合計	2,263,727	3,104,989
負債合計	8,205,581	9,449,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	752,733	789,760
自己株式	△28,391	△28,391
株主資本合計	1,436,348	1,473,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,177	9,655
為替換算調整勘定	—	△2,280
その他の包括利益累計額合計	16,177	7,374
純資産合計	1,452,525	1,480,749
負債純資産合計	9,658,106	10,930,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,839,503	12,600,103
売上原価	11,542,750	11,354,488
売上総利益	1,296,752	1,245,615
販売費及び一般管理費	1,028,310	1,096,276
営業利益	268,441	149,339
営業外収益		
受取利息	2,268	2,658
受取配当金	2,632	2,820
受取賃貸料	7,176	9,255
仕入割引	5,037	5,799
助成金収入	359	5,666
償却債権取立益	—	4,076
その他	6,491	8,779
営業外収益合計	23,965	39,056
営業外費用		
支払利息	52,997	58,680
その他	7,133	8,816
営業外費用合計	60,131	67,497
経常利益	232,275	120,897
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,439	—
固定資産受贈益	3,626	—
その他	234	—
特別利益合計	6,300	—
特別損失		
投資有価証券評価損	19,281	—
減損損失	—	811
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,236	—
その他	54	163
特別損失合計	25,571	975
税金等調整前四半期純利益	213,004	119,922
法人税等	5,388	34,240
少数株主損益調整前四半期純利益	207,615	85,681
四半期純利益	207,615	85,681

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,615	85,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,811	△6,522
為替換算調整勘定	—	△2,280
その他の包括利益合計	24,811	△8,803
四半期包括利益	232,427	76,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,427	76,877
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)に基づく税率・規定を反映し、当第3四半期連結会計期間末の繰延税金資産及び繰延税金負債の算定を行っております。

当該算定に伴い、従来と比較して当第3四半期連結会計期間末の繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は27,627千円の減少となっております。また、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は税金費用(法人税等調整額)の増加により28,317千円の減少となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,954,750	884,752	12,839,503	—	12,839,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,452	838,084	861,536	△861,536	—
計	11,978,202	1,722,836	13,701,039	△861,536	12,839,503
セグメント利益	174,032	67,781	241,813	26,627	268,441

(注) 1. セグメント利益の調整額26,627千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,876,021	724,082	12,600,103	—	12,600,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,561	743,281	761,842	△761,842	—
計	11,894,582	1,467,363	13,361,946	△761,842	12,600,103
セグメント利益	115,233	8,465	123,699	25,639	149,339

(注) 1. セグメント利益の調整額25,639千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「販売事業」セグメントにおいて、無形固定資産について、電話加入権のうち現在休止手続きを行っている回線につき今後使用が見込めないため、帳簿価額の全額を減損損失として減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては811千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。